

謹賀新年

遅ればせながら、あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。
昨年末から更新が遅れて申し訳ございません。年末からのバスケットボール部の活動をお知らせします。

12/30 ~ 1/2 オフ

1/3 OB会 及び 初練習 第二体育館

1/4 強化練習会（他県チームとの練習試合）

1/5, 6 長崎市会長杯バスケットボール大会

以上のような状況です。

本校の第一体育館が、3月までは使用できませんので、県立総合体育館や第二体育館などでの練習がこれからも続きます。しかし、どのような環境でも対応しなければなりません。変えられるのも変えられないものは、最初からわかっています。こちらが対応しなければなりません。そこで、今年のキャッチフレーズです。

堅忍不拔・・・困難に耐えて、屈せず動ぜずがんばること。

塩田主将を中心にチーム一丸となっていかなければなりません。

追い込み

今日から第3学期が始まりました。しかし、受験生である3年生は最後の追い込みの時期です。大学センター試験までの2週間を切りました。また、センター終了後の2次試験も目の前です。何度も言うことですが、試験は待ってくれません。自分があわせなければなりません。今さらジタバタしても同じことです。自分の持てる力をしっかりと出すことです。しかし、時間は有効に使ってください。1分1秒たりとも無駄にはしないことです。現役3年生はもちろんですが、現在浪人中のバスケットボールOBはもっと大変ですよ。最後の最後の一踏ん張りです。受験もバスケットボールも同じです。

あきらめない・・・ひたむきに・・・これ西高バスケットボール

ジブシー

少々大袈裟ですが、現在のバスケットボール部はジブシー生活＝練習です。まあ一体育館があるだけましですが、今日は実質1時間の体育館使用でした。そのことは、通常の練習から考えるとマイナスですが、短時間に効率よく練習することを考えれば、プラスにもなるのではないのでしょうか。つまり、練習は1時間のハーフコートでした。この時の練習の工夫や集中力を2時間のオールコートの練習で同じように発揮できれば、効果はてきめんではないですか。何事にもプラス思考で、前向きに行かなければいけませんね。特に監督やコーチがマイナスであれば、チームは必ずマイナスに進みます。明日も限られた練習ですが、創意工夫です。

粘り

「粘り」この言葉を西高は忘れてはいけませんし、勝負に対して最後の最後まで粘るあきらめないことは大切です。では、どのようにして身につけていくのでしょうか。練習でのことはもとより、普段の生活やこれまでの生活環境が大きく左右します。現在の選手たちは、正直恵まれた環境で、恵まれた生活を過ごしてきました。少なくともそう感じます。そのことは仕方ありません。しかし、そのような中で粘り強い選手を育てなければ少なくとも西高では勝負できません。このところその点がひっかかります。何とかしなければならぬ部分です。

感謝

現在長崎西高等学校は第一体育館が使用できません。その間、いろいろな場所で練習しています。また、いろいろなところで練習試合もしています。練習に関しては、体育館の借用はもとより、金銭的な負担など多くの方の援助があって成立しています。また、練習試合は、こころよく引き受けていただく相手チームの度量に助けられています。このように、様々な方の協力援助により、体育館が使用できない部分を補ってくれます。このことに選手一同感謝しなければなりません。さあー今週末は試合です。真の意味での新チームのスタートです。他のチームに遅れること3ヶ月ですが、その間他のチームでは体験できないことも体験してきました。今年もやらなければなりません。 堅忍不拔

一長一短

人それぞれにいいところもあれば、悪いところもあります。また、その人間のいい部分が反面悪い部分にもなります。バスケットボールに限らず、選手のいい部分を伸ばしてやることは大切であり、ほめるべき所です。しかし、どうしても悪い部分に目がいき、選手をほめるどころか、叱ることが多くなります。特に試合前は、チーム練習が主になるので、チームプレイの強要で、ミスを咎めるような練習になりがちです。コーチを何年経験しようとも、この部分はコーチの力量や度量となります。当然、試合中も同じです。オフェンスも満点、ディフェンスも満点やシュートもリバウンドも満点の選手なんていませんよね。満点を目指すのは選手。コーチはその見極めをしっかりと持たなければなりませんね。今日の練習……考えさせられました。

WJBL

協会の役員としてWJBLなどの運営に多く携わってきました。今回も昨日お知らせしたWJBL長崎大会の運営に関わっています。地方で開催されるWJBLですが、チケットの売れ行きはさほど芳しくありません。いろいろな方法を考えて、チケットの販売を行います。協会がWJBLを誘致し、直に日本のトップレベルの試合を見せることは大変重要ですし、何とか誘致して大会を運営しなければなりません。多くの方がチケットを購入していただくと問題はないのですが、その逆であれば大変です。今後の大会が開催できなくなるし、協会の事業も縮小しなければなりません。何とかあと1週間で、目標を達成しなければなりません。ご協力をお願いします。

準備

明日から九州春季大会県二次予選会が始まります。試合の準備も大変ですが、この2日間バスケットボールに集中するためにも、いろいろな仕事を裁かなければなりません。人間いつ何時、突発的なことが起きるかわかりません。そのためにも準備や計画を立てて、物事を進めなければなりません。自分の役割をしっかりと全うしなければいけません。選手にいつも指導していることをこちらがサボるわけにはいけません。明日からの試合も、それぞれの役割をしっかりと果たしてください。役割を果たすこと＝今何をすべきか、何をしなければならないかそのことが理解、実践できると試合なんて怖くありません。楽しく試合を迎えてください。試合前にワクワクしなければ、いい試合はできません。さあー試合に集中です。

九州春季県予選

新チームが本当の意味での公式戦です。結果を重視すれば、OK。内容は課題多し。
1回戦 73-59 長崎北陽台決勝リーグ 84-78 西海学園
明日は長崎日大、海星との試合です。新チームの真価が問われます。

水戸黄門

「水戸黄門」私は、水戸黄門が大好きです(このことを知っている方は、納得するし、笑いをこらえてください。)今日は月曜日ですから、毎週8時から1時間番組で放映された日本人の多くが知る水戸のご老公のテレビ番組です。何故かというストーリーは毎回似たような形ですが、「勧善懲悪」で黄門様が活躍することです。この番組と交互に放映された「大岡越前」も好きですが、やはり水戸黄門です。古い人間と思われませんが、「正義は何か」このことを教えてくれた番組ではないでしょうか。追伸、現在の水戸黄門は、よくわかりません。それは、長崎西に転勤して以来、番組を見たことがありませんから。だから私の水戸黄門のイメージは「東野さんの水戸黄門」です。古い話ですみませんでした。明日は、久々のアリーナ練習です。「この印籠が目に入らぬか」この台詞です。

チーム力

バスケットボールのチーム力にはいろいろなものがあります。今大会の西高のチーム力は、県で3位またはそれ以下かも知れません。では、このチーム力をどのようにして、レベルアップさせるのでしょうか。チームの構成メンバーである選手の個人レベルアップが大切ですし、第一かも知れません。しかし、個人のレベルアップだけがチーム力アップとなるには疑問視されるところもあります。やはり、チームとして取り組まなければならないことがぶれずに足元をかため、幹を太くしていくしかありません。大会閉会式後のそれぞれのチームの動き(=選手の動き)を見ると今後のチームが見えてくるような感じです。試合を見た方がワクワクするようなチームを作りたいですね。

準備会

本日 WJBLの最終準備会を終わりました。多くの方の協力により、長崎らしいWJBLが開催できそうです。ここまで、いろいろなことがありましたが、スタッフが長崎のために、子どもたちのために協力して、大会が盛り上げてくれると思います。あとは、アイシンAW、シャンソン化粧品のスバらしい戦いを期待します。

